



東京都あきるの市 中西^{のりゆき}紀元^{きげん}さん

より豊かな・気持ちの良い生活が送れるようになりました。

Q 差し支えなければ、年齢と出身地を教えてください。

A 昭和40年、東京都小平市生まれ、神奈川県横浜市育ち(小学校～高校)。

Q ごみ問題に関心をもつようになったのは何故ですか？

A なぜ、道端にごみが落ちているのだろうか…という単純な疑問からです。ただそれは、単に物理的にごみが落ちているということではなく、なぜ、その人は道端にごみを捨てたのだろうかという疑問です。

Q ごみかんに入会して下さったきっかけは？

A 昨年、早期退職をきっかけに、環境保護に関することを学ぼうと図書館で「環境問題」の棚から山谷修作さんの「ごみゼロへの挑戦」を手にとったことです。

そして、エリザベス・ロイトさんの「追跡！私の『ごみ』」を読んで、ごみの行方について考えるようになり、ベア・ジョンソンさんの「ゼロ・ウェイスト・ホーム」を読んで、具体的に自宅でのごみ削減に取り組むようになりました。

生ごみは自宅で100%コンポスト化、使い捨て製品、特にプラスチック製の使い捨て製品はもらわない、プラスチック製品は極力買わないようになりました。その結果、ベア・ジョンソンさんも言うように、

Q ごみ問題に関わること以外で、趣味や生きがいは？

A 趣味はサッカーを中心として、スポーツをすることでしたが、今はもっぱらジョギングだけです。これは、趣味というよりは生活の一部になっています。

あと、伝統工芸品(陶器、漆器を中心に)を買って、使うことです。特に、「良い」食器で食事をするのが喜びです。

また、生きがいという言葉に当てはまるのかどうか判りませんが、美しい地球を未来に繋げていく行動をとることです。

人間は「宇宙船地球号」の乗組員の「一部」であることを、すべての人にきちんと認識してもらい、それにふさわしい行動をとってもらうように働きかけていきたいと思っています。

Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A 小学4年生の時に、自分の遊び場であった裏山が開発の為に切り崩されました。その時、「自然破壊はやってはいけないこと」という想いを強く持ちました。それ以来、環境問題については、常に関心を持って来ました。

また、20年ほど前に外食時の「マイ箸」を始めました。きっかけはいわゆる「割り箸による森林破壊」だったのですが、マイ箸を使い始めて、より大きなメリットに気が付き



ました。マイ箸は、割り箸に比べて圧倒的に使いやすいので、食事を「きれいに」「おいしく」頂くことができるということです。これは、当たり前のことなのかもしれませんが、「良い」食器を大切に使う、使いやすいお箸を使うということは、フードロスの削減にもつながる行動だと思っています。お気に入りのお箸は煤竹を使った先の細いものです。(写真)

Q ごみかんに期待したいこと、提案したいことはありますか？

A ごみ問題の解決には、市民の意識改革が必要です。引き続き、市民への啓蒙活動に期待します。具体的には、ポイ捨て(不法投棄)の根絶、分別による資源化率の向上、そして、生ごみのコンポスト化の推進です。

また、地球温暖化対策の観点でも廃プラスチックの焼却処理を無くすべく、他の市民団体とも協力しての行政への働きかけに期待しています。

地球上で人間以外にごみを出す生物は居らず、ごみは「資源」であるという概念を持って行動すれば、ごみは無くなります。日本人の持つ「もったいない」という概念と「道徳心」をもってすれば、必ずや達成できると信じたいです。